

文 通 事 告

(3) 2015年(平成27年)1月8日(木曜日)

問題とし問題

NPO法人ヘルスケアネットワーク
(OCHI-S)

副理事長 作本 貞子



きな飛躍を成し遂げた年
となりました。

健康起因事故防止へ更なる支援

まず、金日本トラック 思っています。

昨年OCHI-Sは睡眠
時無呼吸症候群(SAS)
止マニュアル」作成を受
事業をスタートしてから
10周年を迎え、関係方面
の方のご支援のもと、大

協会の「トラック事業者
のための健康起因事故防
止マニュアル」作成を受
託し、長年培ってきたト
ラック事業者向けの健康
管理でのノウハウを、本

Sセミナーでは国土交通
省の安全政策課の小林豊
課長のご講演をいただ
り、「SAS対策についても
同様に、定期健康診断の
実施」とその「フォロ
ー」です。もちろん労働
安全衛生法に定められ、
し、フォローも並行して
コンプライアンス上クリ
アすべきものではあります
が、ハードルが高いの

マニュアルにまとめあげ
ることができました。特
に中小企業において「手
の届かない」「難しい」と
感じる点をきめ細かく、
しかもマニュアルでお示
しあげたのではないかと
おもいました。

OCHI-Sが最も重要な
こととして捉えていた
ことは、効果の高い健康起因事
故防止対策として捉えていた
ことが、今後のOCHI-Sの果たすべき役割と捉

えています。

今や健康管理は、事故
防止と切り離して考える
ことはできません。一方

で業界を悩ます深刻な
「ドライバー不足」や「高
齢化」問題。これらとも
同様に、定期健康診断の
実施」を決して「別物」ではありません。今後も微力ながら
「運輸業界の健康管理に
OCHI-Sあり」を目指し、新たな志で11年目の
スタートを切ります。

健康診断+SAS」をど
うだけクロスして生かせ
ることができます。
この基本をしっかりと実
践につながるようきめ細
かなサポートをしていく
ことが、今後のOCHI-S
となります。

健康診断+SAS」をど
うだけクロスして生かせ
ることができます。
この基本をしっかりと実
践につながるようきめ細
かなサポートをしていく
ことが、今後のOCHI-S
となります。